

第5章 計画の推進にあたって

1 計画の推進体制

(1) こども・子育て支援会議

平成 25 年4月に、大阪市におけるこども・子育て支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、こどもの保護者、事業主・労働者を代表する者、子ども・子育て支援に関する事業の従事者、学識経験者等で構成する「こども・子育て支援会議」（以下「支援会議」という。）を設置しました。この会議は、「こども・子育て支援会議条例」が平成 25 年 4 月 1 日に施行されたことに伴い、それ以前に設置されていた「大阪市次世代育成支援対策推進会議」の機能を引き継いでいます。

本計画については、平成 26 年度に支援会議を5回にわたって開催し、審議を重ね、委員のみなさまのご意見をふまえ策定しました。今後、本計画の進捗管理及び検証・改善についても支援会議の委員のみなさまからご意見をいただきながら、よりよい施策の推進を図ります。

(2) 庁内体制

①大阪市こども・子育て支援施策推進本部会議

大阪市におけるこども・子育て支援対策にかかる施策を総合的かつ円滑に推進するため、平成 25 年6月に、全庁的な組織である「大阪市こども・子育て支援施策推進本部会議」（以下「推進本部会議」という。）を、それまでの「大阪市次世代育成支援施策推進本部会議」の名称変更をして設置しました。

本計画については、平成 26 年度に、支援会議の委員のみなさまのご意見や、パブリック・コメントの実施により広く市民のみなさまからご意見をいただきながら、推進本部会議において全庁的な検討を重ねながら策定作業を進めてまいりました。今後、推進本部会議のもと関係部署が連携しながら、本計画に基づく施策を推進するとともに、計画の進捗管理及び検証・改善を行い、施策の一層の充実を図ります。

②本市自らの取組

大阪市では、次世代育成支援に率先して取り組むため、事業者として「大阪市特定事業主行動計画」を平成 17 年4月に策定し、子育てに対する職場の理解を深めることを柱に、職員が安心してこどもを生子、育てやすい職場環境の実現に向けて取り組んできました。また、平成 22 年度からは仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進等を新たな視点として追加した後期行動計画のもと、本市職員への仕事と家庭の両立支援に取り組んできたところです。

次世代育成支援対策推進法の 10 年間の延長を受け、平成 27 年度からは新たな行動計画のもと、引き続き取り組んでいきます。

2 計画の進捗管理及び検証・改善

(1) 検証・改善サイクル（PDCAサイクル）の確立

本計画を実効あるものとするため、施策の進捗状況を把握するとともに、基本理念の達成に向けて効果の検証を行い、計画の見直しや施策の改善、充実につなげていく、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）のサイクル（PDCAサイクル）を確立していくことが重要です。

本計画における教育・保育、及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保については、毎年度点検・評価し、必要に応じて計画を見直すこととします。また、その他の個別の事業についても、本計画を実効あるものとするため、毎年度の取組の進捗管理を行うとともに、基本理念の達成に向けた効果検証を行い、施策の改善、充実を図ります。さらに、計画期間の中間年においては、目標や指標の達成状況に応じ、必要に応じて計画の見直しを行います。

(2) 進捗状況の公表

本計画の進捗状況については、公開により開催する支援会議に報告し、委員のみなさまのご意見をいただくとともに、大阪市のホームページに掲載するなど、より多くの市民の方々に周知できるように努めます。

3 社会・経済情勢の変化等への対応

景気は持ち直し傾向にあるものの、本市財政は、人件費や投資的・臨時的経費の抑制を図っているものの、最も税収の多かった平成8年度決算と比較すると、税収が約2割も低い水準で推移する一方で、扶助費や市債の償還のための公債費などは2倍を超え、なかでも生活保護費は約2.6倍に増高するなど、義務的な経費が高い伸びを示しています。スリムで確固たる行財政基盤の確立に向け、引き続き、施策・事業の聖域なきゼロベースの見直し、歳入の確保などを進めるとともにサービス向上やICTを活用した業務改善等にも取り組み、新たに発生する社会的ニーズにも柔軟に対応しながら、安定的に市民生活を支えるための行財政運営を行う必要があります。

本計画の基本理念の実現に向けた各種事業の実施にあたっては、このような状況をふまえて、今後の社会・経済情勢や国の動向の変化に的確かつ柔軟に対応しながら、着実に推進するよう努めます。

4 国・大阪府など関係機関との連携

本計画を進めるにあたり、国や大阪府などの関係機関との連携を図っていくことが重要です。

国では、内閣府や厚生労働省、文部科学省など多くの省庁が一体となってこども・子育て支援施策、次世代育成支援施策を推進しています。こうした動向を的確に把握するとともに、必要に応じて他の市町村とも連携して適切な調整を図りながら、大阪市の各施策に反映していきます。

また、大阪府と情報交換を密にし、各種取組の相互補完により、効率的かつ効果的な施策の推進を図る必要があります。

とりわけ、企業への働きかけやこどもや青少年の健全育成、安全確保などを進めるうえで、大阪府さらには国との連携が不可欠です。国や大阪府などの関係機関と一層連携し、施策の効果的・効率的な推進を図ります。

5 自律した自治体型の区政運営

急激な少子化・高齢化の進行は、社会経済全体に極めて深刻な影響を与えるものであり、こども・子育て支援は、既婚や未婚、こどもの有無にかかわらず、世代を超えて大阪市に住み、働き、学ぶすべての人の将来にかかわる重要な課題です。また、こども・子育て支援は、行政だけで進められるものではなく、家庭や地域社会、児童福祉施設を含む社会福祉法人、学校園、企業等が連携、協力しながら推進していく必要があります。

地域社会が抱える課題がより一層複雑・多様化・深刻化する中、社会全体で担うべき「公共」の役割はこれまで以上に拡大してきていますが、課題解決に向け、行政だけの対応では困難となってきたとともに、地域福祉を支えてきた地域団体においても、地域活動における担い手不足、縦割りによる地域の負担感等により「自助・共助」の機能も低下してきている状況があります。

大阪市では、「ニア・イズ・ベター」（補完性・近接性の原理）を徹底して追求し、それまでの市民協働の取組を継承し、自主的な地域運営の仕組みとしての地域活動協議会の取組による地域課題に対応した地域のまちづくりを推進し、地域力を更に発展させていくとともに、従来の考え方や手法にとらわれることなく、住民により身近な区において施策や事業を決定していく、新しい住民自治・新しい区政運営の実現をめざすこととしています。基礎自治に関する施策や事業について、区民に身近なところで意思決定が行われるようにするため、区長の権限や機能を強化し、区の特性や地域の実情に応じた区政運営を行っています。

地域社会における「公共」の分野に地域の多様な主体と区が協働して取り組むことによって、24区で画一的なものではなく、それぞれの区の特性や地域の実情にあった真に必要な取組やサービスの提供が可能となり、表面に現れにくい地域課題にも迅速かつ的確に対応できるなど地域社会への効果や効率性も高まっていくと考えられます。

これらの区や地域での取組と全市域での取組が互いに補完し合いながら、それぞれの強みを生かして地域のさまざまな活動主体との協働により進められるよう、こども・子育て支援にかかる取組を効果的に推進します。

（１）区政会議

ニア・イズ・ベターをさらに推進していくためには、局から区に権限を移譲することと同時に、区長は区民の意見やニーズをしっかりと把握し、区民が区政運営に参画し評価することが必要となってきます。各区では、そのためにさまざまな取組を行っていますが、区政会議はその基本となるものです。区政会議については、全市的な統一基準として、「区政会議の運営の基本となる事項に関する条例」が平成25年6月1日から施行されています。こども子育て支援を含む様々なテーマについて議論しています。

（２）区将来ビジョン

また、各区においては、区長が区内の基礎自治行政を総合的に推進していくため、地域としての区のめざすべき将来像、将来像の実現に向けた施策展開の方向性等を区民の方々に明らかにするための「区将来ビジョン」と、「区将来ビジョン」で示された施策展開の方向性に沿って年度ごとの施策・事業の取組を明らかにする単年度ごとのアクションプランである「区運営方針」を策定し、毎年度の「区運営方針」に係るPDCAサイクルを通じて「区将来ビジョン」を進捗管理しており、こども子育て支援についても各区の主要なテーマとされています。

(3) 区で取り組んでいる事業

区においては、こどもや青少年の健全育成や子育て支援に関わって、地域事情や特性に応じた区独自の取組を展開しています。地域での取組と行政施策が役割分担し、補完し合いながら、次世代の育成とこども・子育て支援を効果的に推進していくことが重要です。

区の特徴に応じて取り組む主な事業（平成26年度）

こども・青少年の「生きる力」を育成します

実施区	事業名	概要
都島区	ネパール中学生とのWeb交流事業	ICTを活用したWeb交流の実施により中学生が異文化と触れ合う機会を提供し、中学生が自らの考えや意見を積極的に述べられるよう促すことによって、グローバル時代に必要なコミュニケーション能力を育成するとともに、海外の学生たちと議論することを通じて、自身の語学力のレベル等、今後の学習への気づきを得ることを目的とする。
都島区	クリーン ³ 大作戦	かえっこバザールを開催し、いらなくなったおもちゃのリサイクルである「かえっこ」の仕組みを使い、子どもたちの環境美化への意識の向上をめざす。 地域住民と子どもたちが協働し、落書き防止を目的としたペインティングを実施することで、社会のルールやマナーを守り、地域への愛着心や貢献意欲を持つことをめざす。
都島区	交通安全運動関係事業「放置自転車をやめよう!ポスター絵画展」	放置自転車防止啓発に取り組む市民活動団体と区役所との協働事業。子どもたちが描いたポスターから路面シートを作成し、子どもたちの手で道路に貼付することで、社会のルールやマナーを守り、地域への愛着心や貢献意欲を持つことをめざす。
都島区	小学生やる気アップ学習支援事業	小学校の協力を得ながら、NPO等と連携し、指導開始前に研修を受講した大学生、大学院生等が夏休みなどの期間に集中的に指導にあたり、子どもたちに勉強する意義の理解と学習への強力な動機づけを行うことで学習意欲の向上と学習習慣の確立をめざす。
福島区	特別支援教育サポート事業	ボランティアを募集し、各学校に配置することにより、学習活動の時間だけでなく、昼休みや放課後等の時間においても、小学校の特別支援学級に在籍する重度の肢体不自由のある児童の移動介助や多動の著しい児童への安全確保を行う。
此花区	「子どもたちの未来のために!!」事業	子どもの社会力向上につなげるために、区内小中学校における特色ある取組の教育支援や保護者向け講座を実施するとともに、此花区内の生活指導アドバイザーの配置等によって学校の基盤づくりを支援する。
中央区	中央区英語交流事業	子どもたちが、コミュニケーション能力の一つとなる英語に対する興味や関心を高め、様々な活動を通じて一層好奇心や探究心を持つことにより、多文化共生の態度を身につけることをめざし、保護者や地域とともに将来グローバルな舞台に挑戦し活躍する次世代の人材を育成する。
中央区	こどもと地域をむすび「きずな」活性化事業	次代を担う子どもたちが、地域の人とのつながりを通じて地域に対する愛着を深めるとともに、地域住民が子どもたちと関わることで、教育を通じた地域コミュニティの活性化を図る。

実施区	事業名	概要
西区	小中学校特別支援学級等応援事業	小中学校の特別支援学級に在籍する児童・生徒等の学校生活を支援し教育活動をより充実していくことを目的として、地域の協力を得てボランティアを配置し、特別支援学級に在籍する障がいのある児童・生徒等に対し、学級担任や教科担任の指示のもとに「放課後課外活動」や「校外活動」等の支援を行う。
西区	夏休み工作教室	生涯学習推進員が区役所と共催して、小学生を主な対象とした夏休みの自由研究にも使える工作教室を実施する。地域のボランティアである生涯学習推進員等が日頃の活動の成果を広く還元するための取り組みでもある。
港区	英語大すき♪わくわく交流・ドキドキ体験事業	小学校3、4年生を対象に、英語圏での生活を再現した通所型の「英語村」などの活動体験を実施し、子どもたちの英語への関心を高める。また、中学生については、英語を使って活躍している職業の人たちから話を聞くプログラムなども提供しグローバル人材の育成をめざす。
港区	絵本による読書活動促進スタートアップ事業	絵本ひろばのコーディネータとファシリテータの派遣及び絵本と面展台の提供をすることによって、区内の学校図書館や地域の公共施設等で、地域が主体的に「絵本ひろば」を開催できるようにし、子どもの主体的な読書活動を推進する。
港区	中1ギャップ問題の解決に向けたパイロット事業	中1ギャップ問題の解決に向け、家庭学習の促進を図るとともに、不登校児童等に対する登校支援策等を実施する。
港区	こどもサイエンスカフェ事業	こどもたちの科学への関心を高め、豊かな想像力をはぐくむために、こどもたちが集い、科学の知識を楽しく学べる場を提供するとともに、科学にかかわる地域資源と連携した地域における教育の取り組みをより一層推進する。
天王寺区	英語による即興型ディベートスクール事業	中学生を対象に、ディベート等を通じて英語によるコミュニケーション能力を強化するとともに、留学生等との交流を通じて外国の文化についても理解・尊重できる人材を育成する。
天王寺区	中高生インターンシップ事業	中・高校生が、大阪市内及び近隣都市の企業・事業所等において、実践的な職業体験を積み社会で生きていく力を養うことにより、未来を担う人材を育成する。
天王寺区	社会の仕組みを学ぶ体験学習事業	小学生を対象に、社会の仕組みや仕事について自ら体験し、考える機会を提供することにより、未来を担う人材を育成する。
天王寺区	天王寺区ジュニアクラブ事業	学校・地域・関係機関等の協力により、小学校4年生から高校生を対象に、地域行事へのボランティア参加や施設体験等を行い、将来の地域における人材の育成を推進する。
浪速区	区長が子どもの声を聴く会	区長が各小中学校へ出向くなどし、児童・生徒から直接素直な意見や提案を聞き、担当の行政機関とも連携して、その実現に努めるとともに、市民協働の大切さについて、こどもたちに考えてもらう機会とする。
西淀川区	図書に親しみ多世代が交流する環境づくり事業	区内にボランティア等の運営による図書・自習スペースを開設し、市立図書館からの距離等から生じる地域の読書環境の差を補うことで、生涯に渡り必要となる言語力・文章力を養う。また、図書を通じた多世代交流により地域の活性化を図り、子ども達の成長に資する。

実施区	事業名	概要
淀川区	淀川区学校サポート事業	開かれた学校づくりをすすめ、学校と地域が協働して、子どもをはぐくむ環境の充実に取り組めるよう、ボランティア人材の募集を広く行うとともに、学校現場におけるボランティア参画による学力向上に向けた取組を支援する。
淀川区	小学生の読書活動支援事業	子どもにとって読書とは、言葉を学び、表現力や創造力を豊かにするうえで欠くことができないものであり、学力を高める有効な手段である。そこで、はぐくみネットの活動である小学校での読書活動を支援し、図書の実用を図り、読書習慣の形成を推進することで小学生の学力の向上を目指す。
淀川区	児童・生徒の体力づくり支援事業	区内小中学生の体力向上を目指し、子どもの運動時間を増やすために、学校・家庭・地域それぞれの場で取り組める運動の機会を提供することを通じて、意欲・気力が充実し困難に立ち向かう力のある「未来を切り拓くタフネス淀川っ子」を育成する。
淀川区	生涯学習推進事業 / ものがたりのちから	こどもたちに「ものがたり」や絵本の魅力を伝えるため、図書館や読書ボランティアと協働し、絵本の読み聞かせや人形劇、紙芝居などを行う。
淀川区	次代を担う少年少女に対する人権啓発活動	淀川区内の小中学校において、障がい者やいじめなどの人権問題をテーマとし、人権啓発推進員による啓発活動を実施することにより、次代を担う子どもたちの人権意識の醸成・向上を図っている。
淀川区	3歳児・中学生の食育推進事業	3歳児の食育推進事業として、健診時に健全な食生活・適切な食生活の実践のためのパネル展示や食品展示、ゲームやリーフレットの配布により食に関する体験活動の促進、適切な知識の啓発等行う。 健康の自己管理ができる中学生の食育推進事業として、食生活指導をすることで食事の摂り方などについて正しい知識を身につかせ、生涯を通じて自ら健康を保持増進することにつなげる。
東淀川区	東淀川区中学生勉強会	貧困のサイクルを打破するため、高校への進学を目的とした学習支援を行う。また、学生ボランティアを中心とすることにより、学び楽しさや高校・大学生活での素晴らしさを伝えてもらうことにより学習意欲を高めるとともに、社会の中の「居場所」となるような環境を構築することを目的とする。
東淀川区	「望まない妊娠」を防止するための健康教育事業	区内市中学校において土曜授業等を活用して、思春期の児童・生徒を対象に自分や他者の価値を尊重し、相手を思いやる心を醸成するなど自尊感情を高めるための教育を行い、児童虐待の大きなリスク要因である「望まない妊娠」や「十代の妊娠」を防止し、児童虐待の未然防止につなげる。
東淀川区	わがまち安全安心教室	区内の小学生を対象に、犯罪に対する意識付けを行い、危険予知・回避能力を養うため、防犯カルタ、自転車シミュレータ、防犯体操などを開催し安全安心な街づくりをめざす。（PTA親子ふれあい大会と同時開催） 区内小学校において、低学年向けの安全安心教室を開催する。
東淀川区	中学生の防災研修（土曜授業）	昼間、防災の担い手となる中学生に対し、学校のニーズ調査をしたうえで、土曜授業などを活用した防災研修を実施する。研修内容については、中学生達が自助共助を目的に研修を行う。地域の防災カリキュラムとマッチングさせた研修などを行うことで、防災と地域社会を結びつけた高い効果が得られる研修を行う。

実施区	事業名	概要
東淀川区	地域と連携した特色ある学校づくり支援事業	子どもたちが将来にわたって必要となる力をはぐくむため、小学校が抱える多様な課題やニーズに対して、地域の特性その他実情に応じて地域と連携した特色ある学校づくりを支援する。
東淀川区	中学生区政会議	「児童の権利に関する条約（子ども権利条約）」の理念に基づき、次代を担う中学生がまちづくりなどについて区長と議論し、施策反映や課題解決につなげるとともに、自らが育った地域を愛し、心豊かに力強く生き抜く力を備えた人材を育成する。
東淀川区	絵本バンク事業	東淀川区独自で、絵本を募集し絵本読み聞かせ事業で活用する。当事業で活用する絵本を募集したところ区民の皆様から 1,000 冊(平成 26 年 10 月末現在)を超える絵本を寄贈いただいた。寄贈絵本は「絵本バンク」の絵本として大切に保管・管理し、子育て関連施設等での読み聞かせ活動、区内施設への貸し出しのほか、窓口サービス課（区役所 1 階）や区役所出張所（2階）の絵本コーナーに設置し活用している。
東淀川区	高校等進学説明会	子どもたちが、自分に合った進路を選んで将来につなげられるよう、東淀川区PTA協議会・区内市立中学校と連携して、説明会を開催する。説明会には、公立・私立高等学校、高等専修学校に参加いただき、学校ごとのブースを設置して、教育方針・特色・入試・学校生活・卒業後の進路などの相談に個別に対応していただくほか、パンフレットコーナー・制服展示コーナーも設置する。
生野区	生野区次世代育成事業「ものづくり教室」	工業高校の生徒が区内のものづくり企業において技術指導を受け、学んだことを体験教室を通して小学生に伝えることで、ものづくりの大切さや楽しさを実感してもらう。
生野区	こども工作教室	地域団体と共催して、区内の小学生を対象に、子どもたち同士の交流をはかるとともに、ものづくりの体験を通じて、その大切さや楽しさを知ることにより、地域活性化や子どもたちの健全育成を図る。
旭区	あさひ学び舎事業	学業や進学環境が十分に用意されない生活保護受給世帯の子どもが成長し、再び生活保護に至るという「貧困の連鎖」を断ち切るために、生活保護世帯における中学生に対して学習支援、生活指導や開発教育などを行い、高校進学を促進し、生活保護受給世帯の子どもの自立促進を図る。
旭区	旭区放課後おさらい事業	区内の小学生を対象として、学校単位で放課後にボランティア教員や学生等の指導員を配置し、宿題やおさらい等の学習指導を行う。
鶴見区	青少年「夢・未来」創造事業	次世代を担う子ども・青少年が将来への夢を膨らませ、健やかに成長できるよう、「学校に社会人を！」キーワードに、地域の企業等さまざまな分野の方の社会経験を学校で語ってもらうことにより、学校と社会のむすびつきを充実させる。
阿倍野区	阿倍野区英語交流事業	小学校 3～6 年生を対象に、ネイティブスピーカーと触れ合い、授業で習得した英語を日常的に活かす場を提供し、語学力の向上および異文化理解の促進を図り、多様な価値観を持った人材を育成する。
阿倍野区	阿倍野区国際力向上施策	グローバル化が進む中、阿倍野区内における英語教育サポート、教育の国際化・多様化、区の国際プロモーションを通じ、学校園における国際的な人材育成を支援するとともに、区の国際化を推進する。

実施区	事業名	概要
阿倍野区	グローバル人材育成に向けた新教材活用研究支援	グローバル人材育成に向けて、阿倍野区とレゴ社が包括連携協定を締結し、また、大阪教育大学科学教育センター及び阿倍野区公立学校園新教材活用研究会と連携し、ICTのより効果的な活用も視野に入れ、レゴ社が提供している教材等を用いた新たな教育手法の共同研究を支援する。
住之江区	小学生の学習意欲向上支援	小学生の家庭学習の習慣づけ、学習意欲の向上を図るため、区内小学校において、漢字検定の受験を実施する。
住之江区	中学生の英語力向上支援	英語学習への動機づけ及び意欲向上を図るため、区内中学校において、英語検定の受験を実施する。
住之江区	こども学習サポート事業	区内在学の小・中学生を対象に、学校の長期休業時に学習指導員を学校に派遣し、個別学習指導等の学習支援を行うことにより、学習習慣を定着させ、学力の向上を図る。
住吉区	すみよし学びあいサポート事業	個別の学習サポートにより、生活保護世帯など経済的に困難な世帯の中学1・2年生を中心とした子ども達の勉強意欲を高め、学力の向上を図ると共に、高校への進学率アップをめざす。
住吉区	子ども・若者育成支援事業	不登校やひきこもりで悩んでいる子ども・若者や就労に自信が持てない若者を対象に、相談や居場所づくり事業などの支援を行い、社会へとつなげて行く取り組みを行うとともに、関係機関や地域の団体等で構成する地域協議会を設置し、子ども・若者を取り巻く諸課題に対する支援のあり方などを検討する。
東住吉区	英語交流事業	生きた英語にたくさん触れる取組に、こどもたちが楽しく気軽に参加できる機会を提供する。区内を訪れる外国人と積極的にふれあうことのできる、ホスピタリティあふれるまちにする。
東住吉区	東住吉区青少年海外派遣事業	次世代を担う区内中学生を約3週間、海外に派遣する。ホームステイなどを通じ、多種多様な価値観を肌で感じることで、グローバルな感覚と視野を広め、将来の東住吉区における地域課題に対して柔軟に、自立的・積極的に対応することができる人材を育成する。
平野区	平野区こども学習サポート事業	区内のモデル実施校（小学校）において、放課後などの時間帯に、地域の若手人材からなる指導員による指導のもと、こどもの学習サポートを行う。
平野区	3か月児・1歳6か月児・3歳児の食育推進事業	3か月児・1歳6か月児・3歳児乳幼児健診において、健全な食生活の実践のためのパネル展示や、食育推進連絡会議作成の「献立レシピ」の配付等により、食に関する情報提供と知識の啓発を行う。
平野区	中学生に対する性教育事業	中学3年生を対象に、HIV/AIDSを含む性感染症への正しい知識の普及啓発の教育により、増加傾向にある若年の性感染症の予防に努める。また、中学校からの依頼により、自分自身や他者の価値を尊重し、自尊心や相手を思いやる感情を高める教育を行い、「望まない妊娠」や「十代の妊娠」等ハイリスク要因の未然防止に努める。
西成区	西成区基礎学力アップ事業（西成まなび塾）	区内の中学生を対象に、中学校校舎等の公共施設を活用した課外授業を実施することにより、区内の中学生の基礎学力の向上を図るとともに、友達同士で学習する習慣を養い、居場所づくりに寄与することを目的とする。

実施区	事業名	概要
西成区	プレーパーク事業	「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、既存の公園では禁止されているような火や水を自由に使ったり、木のぼりや穴をほったり等、子どもたちがやりたい、遊びたいと思うことを可能な限り自由にできることをめざした「プレーパーク」を開設する。
複数区 で実施	校庭等の芝生化事業	地域住民が校庭等を芝生化することにより、子どもが緑のもとで遊べる環境をつくり、その活動を通じて、地域のコミュニケーションを活性化させ、地域づくりの実現を目指す。
複数区 で実施	学校選択制事業	お住まいの校区の学校とその隣接校から学校を選択できる事によって、子どもや保護者が学校教育に深い関心を持ち、そのことにより学校教育の活性化が図られ、特色ある学校づくり、開かれた学校づくりが進むこととなる。保護者が学校生活・教育内容に関心を持ち、主体的に関わることで学校への支援が進むことになる。
複数区 で実施	発達障がいサポート事業	小中学校に在籍する発達障がいのある児童生徒の生活上の行動面に対して、社会性や対人関係の構築への適応に向け適切なサポートを行う。
複数区 で実施	絵本読み聞かせ事業	絵本の読み聞かせボランティアを募集・養成し、子育て関連施設、妊婦教室、乳幼児健診会場、小学校図書館及び子育てサロン等に派遣して、地域で幅広く絵本の読み聞かせ活動に取り組み、妊娠期・乳幼児から小学校卒業まで一貫した読み聞かせ習慣の定着を促進する。

安心して子どもを生み、育てられるよう支援する仕組みを充実します

実施区	事業名	概要
北区	ひとりじゃないよ！こそだての“わ”事業	子育てメール相談や個別地域出張相談、子育て支援ルームKikkiでの相談など相談事業の充実強化を図る。また、個別ケースに素早く対応するため、臨床心理士の配置など子育て支援室を強化し、要保護児童対策地域協議会での見守りに繋げていく。
都島区	母乳育児の推進事業（親子のきずなはぐくみ事業）	就労妊婦が不安なく出産を迎え、母乳育児の継続や乳児期早期の授乳などの育児に関する不安を解消し、子どもとのふれあいの場を提供することにより、安心してかつ自信をもって育児ができることを支援する。
福島区	福島区病児・病後児保育支援事業	大阪市病児・病後児保育を利用した方がそれに引き続き保育を必要とする場合、1時間につき500円の料金を延長保育を利用できるようにすることにより、子育てと就労の両立を支援する。
福島区	区役所庁舎を活用した子育て支援事業	区民になじみがある区役所庁舎で、赤ちゃん広場、2歳児の広場、発達障がい児をもつ親のグループカウンセリング等の子育て支援事業を実施し、交流のきっかけをつくったり、相談を受ける。また、庁舎内に保護者同士の交流・遊びの場、子育て相談の場として常設（週3回）の「フッピーキッズルーム」を設置する。
福島区	ハッピーママ&ブレママ応援計画の推進	「妊婦さんの交流会」・2カ月親子を対象とした「子育て交流会」・母親の為に育児付き「健康講座」を実施することにより、妊娠期から継続した子育て支援事業を充実させるとともに、そこでの親子同士の交流を地域の子育て支援につないでいくことにより、子育て世代が安心して子どもを生み育てられる環境をつくる。

実施区	事業名	概要
福島区	特別支援教育サポート事業	ボランティアを募集し、各学校に配置することにより、学習活動の時間だけでなく、昼休みや放課後等の時間においても、小学校の特別支援学級に在籍する重度の肢体不自由のある児童の移動介助や多動の著しい児童への安全確保を行う。【再掲】
西区	子育て支援拠点事業	乳幼児とその保護者が交流して子育ての輪を広げ、子育て不安の解消、情報交換の場とするため、西区の中心部で交通の便が良い西区民センター内にて子育て支援センターを運営する。
西区	マンションコミュニティづくりプロジェクト事業 子育てサークル「にっしー広場」	小さな子どもを抱える家庭に対し、マンションでの子育てサークルの実施により地域とつながるためのコミュニティ作りを支援し、地域活動への参加を促進する。また保護者の状況に応じた子育て相談や、地域の実情に応じた子育て支援情報を提供することにより、安心して子育てが出来る環境を整える。
西区	みんなの教室『ぼかぼか』A・B	A：自閉性障害の疑いがあるが、年齢が幼く、医療機関や判定につなげない児や、診断や手帳は取得しているが、受け入れ先がない児が対象。個別にアセスメントし、主に視線を合わせたり、他者を意識することを目標に介入する。 B：自閉性障害の疑いは少ないが、母子関係や社会経験の不足により、対子ども社会性が伸び悩んでいる児対象。個別にアセスメントし、遊びを介しての他児とのやり取り（貸し借りなど）の練習を主な目標として介入する。
西区	発達障がい等こども相談援助事業	発達障がいに関する相談や家庭の養育機能の低下による児童や家庭が抱える問題の複雑化に対応するため、社会福祉士など専門の相談員を子育て支援室に配置し、早い時期からの支援ができるよう、家庭児童相談員や臨床心理士、医療・療育機関・学校園・保育機関等とも連携を図る。
港区	ペアレントメンター事業	専門相談員等のアドバイス及び保護者同士の情報交換の場を提供し、体験等を聞くことにより保護者の育児負担が軽減されるとともに保護者、関係機関等との連携を図ることにより子どもの健やかな成長を図る。
大正区	地域で見守る子育て応援事業	コモンセンス・ペアレンティング講座、わらべうた講座、発達障がい講座等の子育て応援講座を開催し、子育て世代だけでなく幅広い年齢層に向けて子育てに関する知識や情報を提供し、子ども自身の「生きる力」を育てるため、保育・教育機関や地域組織を核とした子育て支援の充実を図る。
天王寺区	天王寺区子育てスタート応援事業	平成26年度以降に出生した天王寺区に住民票を有する3か月健康診査の受診者を持つ家庭を対象に、乳幼児期から子どもの体験・教育の機会等を提供する関連サービスや任意予防接種に利用できる子育て応援券を交付する。
天王寺区	天王寺区子育て情報博覧会事業	子育て関係施設の情報を、子育て世帯が直接施設関係者から収集できる場を提供するとともに、ワークショップを開催し、子育てに必要な知識の専門家からのレクチャーや、参加者どうしの意見交換により、育児不安の軽減を図るためのつながりの場とする。
天王寺区	子育て愛あいフェスティバル事業	区内の子育て支援関係機関、地域団体、子育てサークル等が集まり、就学前の児童と保護者を対象に、親子のふれあい、親どうし及び地域の子育てボランティアとの交流の輪を広げ、地域で支えあう子育て環境の充実のための親子参加型の交流の場を提供する。

実施区	事業名	概要
天王寺区	天王寺区版子育てナビゲーション事業	区内子育て関係機関が集まる子育て支援関係者連絡会を開催し、子育てに関する情報共有や、施設行事等の円滑な情報収集を促進するとともに、収集した情報を、子育てナビゲーション（スマートフォンアプリ版）やHP掲載に活用する。
天王寺区	天王寺区子育てナビゲーション（スマートフォンアプリ版）事業	スマートフォンを使って子育て情報を忙しい養育者がいつでもどこでも手軽に知ることができるよう、アプリで提供するとともに、整備したデータを原則二次利用可能なライセンスで公開し、オープンデータ化に対応することで、民間からのさらなるアイデアによる新サービスの創出を図る。
浪速区	地域子育てサポートネットワーク事業	人口異動が激しく、公的ネットワークから孤立しがちな子育て層に出会いやふれあいの場を提供してきた第1段階を転換し、地域等の多様なサポーターによる子育てサロンづくりや世代間交流を推進することによって社会全体、地域全体で子育てのネットワークを構築する。
西淀川区	子育てを応援する担い手育成・地域連携事業	区内の子育て親子を対象とする、親子交流の場「に～よんステーション」を区役所内に設置。子育てに関する講座や市民協働による交流行事を通じ、子育て層の不安・負担感の解消を図る。また、子育て支援の担い手を育成し、全区に子育て支援の機運の向上に努める。
西淀川区	児童対象絵本展「絵本展ふわふわ」	区内の子育て親子を対象とする「絵本展」を開催、地域での「ミニ絵本展」の開催支援。幼少期の頃から絵本に馴染むことにより感受性・創造性の豊かな子の成長を育み、絵本を通じた親子交流を促す。また、市民主体で開催することで子育て支援ボランティアを育成する。
淀川区	訪問型病児保育（共済型）推進事業	子どもが病気のと看、自宅に必要な病児保育サービスを受けられるように、利用登録者が会費を拠出し、訪問型病児保育の保育料に充てる方式の共済型モデル事業を実施する。
淀川区	よどっこ子育て相談事業	淀川区将来ビジョンに掲げている「子育てしやすく、つながりのある、安全・安心なまち」づくりのため、子育て世帯が抱える様々なニーズに対応する相談事業等を展開する。
東淀川区	東淀川区一時預かり事業（一時預かり）	保護者の傷病等により緊急・一時的に家庭での保育が困難となった場合に利用しやすい環境を整備するため、一時預かり保育を実施する認可外保育施設が、時間単位の一時的預かり保育事業を実施できるよう、補助金を交付することにより、児童福祉の向上に積極的に取り組む。
東淀川区	子育てサロン連絡会との共同事業	子育てサロン連絡会への参画、各サロンへの訪問、参加親子子育て相談、サロンスタッフへのサポート事業を実施し、地域子育て支援拠点事業者等とともに子育て情報MAP情報誌を作成。子育て交流イベント「みのりちゃんフェスタ」を隔年で実施する。
東淀川区	東淀川区子育てリフレッシュ事業	子育て家族が食事やショッピング等の外出時に、その店舗または施設等で利用できるキッズスペース等を大阪市東淀川区子育てリフレッシュ事業協力店舗等として登録し、登録ステッカーを交付するとともに、安心して子どもを連れて利用できる場所として広く公表することにより、子育てしやすい地域づくりを推進する。
東淀川区	区民提案型委託事業（妊婦・乳幼児世帯のひきこもり予防事業）	ひきこもりがちな親子に対し、ひきこもり予防を目的とし、区役所との協力体制のもとNPO法人などから個別にアプローチし、継続的にグループに参加してもらい生活習慣について正しい知識を身につけ、妊婦、乳幼児世帯の仲間作りにつなげる。

実施区	事業名	概要
東成区	子育てネットワーク構築支援事業	地域のネットワークによる子育て支援機能を高め、子育ての不安感の軽減を図るため、関係機関や地域団体等との連携による子育て支援機会の充実や子育て支援に携わるボランティアの育成を進める。また、新たに「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」を運用し、地域子育てサークルの利用拡大を図るとともに、子育て家庭と地域のつながりづくりを支援する。
東成区	なにわっ子すくすくスタート事業	主に乳幼児期のこどもを抱える子育て家庭に対し、状況に応じた適切な支援、相談及び情報提供を実施することにより、子育ての不安感の軽減を図る。 地域の子育て中の保護者の実情に応じた効果的な子育て関連情報の提供にかかる企画及び作成を実施する。
生野区	発達に課題のあるこどもへの支援の充実	発達に課題のあるこどもへの支援のため、乳幼児や就学期の児童などを対象にした少人数単位のフォロー教室や、広く保護者や区民の方を対象にした発達障がいテーマとする講演会を開催する。
生野区	「いくのっ子」応援事業	安心して子育てできる環境を広く周知するため、行政機関と民間団体等で子育てネットワークを構築し、双方のノウハウとネットワークを活かした子育て支援イベント（「いくのっ子」応援事業）の定期開催する。
旭区	あさひ子育て安心ネットワーク事業	「旭区の子どもを地域全体で見守る!!」を合言葉として旭区内の子育て支援機関、団体等が連携し、子育て支援に係る様々な課題についての情報共有や、意見交換を行うことにより、未就学児の健やかな育ちを応援する。また「あさひキッズカード」を未就学児に配布し、子育て関係機関が情報を共有することで総合的な子育て・子育て支援ツールとして活用する。
旭区	ノーバディーズ・パーフェクト・プログラム	子育て中の母親を対象に、安心して子育てについて話し合える場を提供し、その中で孤立感から脱却した母が子育てに積極的に向き合える事を主眼に「自分にあった子育て」を考える学習とサポートを実施する。
城東区	子育て支援情報誌「わくわく城東」	地域の子育てサークルやNPOなどの子育て支援団体に委託し、地域に密着した子育てに関する情報を提供し、子育て中の親同士のネットワークの形成や活動の活性化を図ることで、より地域の実情に応じた子育て支援を推進する。
城東区	『絵本で子育て！みんなで子育て！』	【絵本】を通じ親子のふれあいや活字への親しみ、情緒を育むとともに、子育て支援機関や地域での子育て活動との連携により子育て支援の輪を広げ、地域や関係機関などによる連携した子育て支援を推進する。また、活動や交流事業への参加により、相互理解や地域で活躍する人材発掘に繋げる。
城東区	「わくわく子育てフェスティバル」の開催	区内の子育て支援関係機関、地域団体が集まり、子育て支援の情報提供・相談、ゲームコーナー等により、子育ての楽しさを伝え、就学前の乳幼児と保護者並びに地域住民の交流を深める催しを開催。
城東区	子育て情報 携帯電話用メールマガジン	区内の子育て支援施設の行事やお知らせ、親同士の交流ができる各地域の子育てサロン、親子で参加できるイベント、予防接種の日程、子育ての悩みを相談できる窓口など、子育てに関するさまざまな情報を提供する。

実施区	事業名	概要
鶴見区	子どもネットワーク事業	区内の幼稚園・保育所・子育て関係機関が、相互、横断的に連携・協働し、地域の子育て家庭に対して、安心して子どもを生み育てられる環境づくりを目的に次の事業を実施する。 幼稚園・保育所（5歳児）への交通安全啓発事業、参加施設への子育て支援等学習会及び情報提供・情報交換・交流等を実施する。
鶴見区	つるみっ子ルーム事業	区役所内に親子で自由に遊ぶことができる「つるみっ子ルーム」を開設し、子育て層の親子や子育てサークル等に幅広く利用してもらい、親同士・子同士のつながり等を通じて、子育て支援の輪を広げ、子育てに関する知識や情報を提供することにより子育ての不安感や負担感の軽減を図る。（親子講座やブックスタート事業も実施）
鶴見区	「愛 Love 子どもフェスタ」の開催	自宅に引きこもりがちや子育てに悩んでいる保護者を支援するため、関係機関と地域が一体となり、子育て支援のまちづくりを推進することを目的に実施する。 区民センター全体を使用し、乳幼児とその保護者が交流できるふれあいの場を設ける。（子育て・育児相談コーナー、つながりあそび、手づくりあそびコーナー等）
阿倍野区	子育て支援事業	乳幼児とその保護者への支援とともに、仲間づくりを支援し、子育て支援者のスキルアップとネットワークづくりを支援する。
阿倍野区	子育てカウンセリング事業	「発達が気になる子」の居場所の確保に向けて関係機関との連携をすすめるとともに、ピア・カウンセリングの機会を充実させ保護者の仲間づくりの支援を行うことにより、子どものライフステージに応じた支援につながるよう、子どもの育ちを中心として支え合う地域づくりを行う。
阿倍野区	不登校児などの居場所づくり事業	何らかの理由で学校に行きづらい、学校になじめないなどの不登校の子どもや人との関わりにつまづきを感じる・コミュニケーションが苦手などの悩みを持つ18歳未満の人とそれぞれの保護者の支えになる場所の提供を行う。
住之江区	子育て支援情報紙「わいわい」	区内の子育て関連施設や地域の子育てサロンの行事・情報提供を行うことにより、子育て世代への支援を行う。
住之江区	子育て応援イベント「つながる・ひろがる・子育ての輪」の開催	住之江区内各地域の子育てサロンやNPO、ボランティアグループが集い、子育て中の親子に活動紹介や子育て世代が楽しめるようなコーナーを設け、講演会により児童虐待防止に向けた啓発を行う。
東住吉区	子育て力アップキッズ＆フォロー事業	子育てのしづらさを感じている保護者をキャッチし、早期に親と子のよりよい関係づくりを支援する親育て講座や交流の場を提供し、地域で親子が孤立しないよう支援を行い、就学前までの子育てフォローに取り組む。
東住吉区	子育てOHえんフェスタ	子育てに対する不安や悩みを抱えた子育て世代が、地域から孤立することのないように区内の子育て支援関係機関などが連携を深め情報発信等を行うことで、子育て世代同士だけでなく異世代との新たな世代間の情報交換や交流の機会を提供する。

実施区	事業名	概要
平野区	平野区のこどもたちを元気にする宣言	こどもたちや保護者への支援に携わっている方々、学校、地域と区役所がともに考え行動し、地域ぐるみでこどもの健やかな成長を支援することを目的とした「平野区のこどもたちを元気にする会議」を立ち上げ、その会議からの提言を受けて、平野区に関わるすべての人が、未来を担うこどもたちのために、それぞれの立場や分野で取り組んでいくことを宣言した。この宣言を契機として、平野区に関わる方々が協働し、こどもたちを元気にするためのまちづくりに取り組んでいく。
平野区	親子ひろば（ひらの子育て支援事業）	子育て支援保育ボランティア養成講座を開催し、地域での保護者支援の向上を図ると共に、区役所の子育て支援スペースを利用したボランティアによる「親子ひろば」の開催を行う。また、ちょっと発達が気になるこどものための「親子ひろばパートⅡ」では、特別支援教育士を配置し、親子のよりよい関係づくりを支援する。
平野区	キッズひらちゃん応援団（ひらの子育て支援事業）	企業のCSR活動とタイアップして、子育て支援活動を推進し、社会全体で子育てを応援するため、「キッズひらちゃん応援団」として登録企業を募集する。登録企業には、区の子育て関連事業の場において、企業のノウハウを活かした取組（子育てフェスタでのボランティア活動や試供品の配布、食育講座への講師派遣、乳幼児健診での試供品の配布等）を行っている。
平野区	子育てのWA情報（ひらの子育て支援事業）	子育て支援関係者連絡会で区内子育て情報を集約し、子育てにおいて、困ったときや友だちの輪を広げたいとき、遊ぶ場所がほしいときなど、ちょっとした情報を調べることができる冊子、「ひらの子育てのWA情報」の発行（マップ付き）を行う。また毎月の区内の子育てイベント情報を収集し、区ホームページにおいて掲載する。
平野区	ひらの子育てフェスタ	区内子育て支援関係者、関係機関、団体が協力し、遊び方や遊びの体験などを通じて、子育て世代の交流、子育て相談、子育て情報を広く提供する場として開催する。
平野区	子育て支援者育成事業	地域子育て支援関係機関（区内幼稚園・保育所・療育機関・大学・図書館・つどいの広場など）の実務者、地域子育てサロンの支援者の資質向上をめざし、子育て支援講演会や研修会を開催する。
平野区	親支援プログラム事業	大きな社会問題となっている児童虐待・DVを未然に防ぐため、多様な親の特徴や状況を踏まえ、親自身が子育てのスキルを身につけ、問題に前向きに対処できるよう支援する。また、発達障がいなどで、子育てのしづらさを感じている保護者に対しても、こどもの発達を促し、こどもの行動に上手に対処できることを目的に、子育てへの不安感や孤立感の解消をめざし前向きに子育てできるよう支援する。
平野区	子育て子育て応援事業	平野区内を中心に、子育て支援の活動を行っている団体の方々と区役所が協働して、子育て中の親やこども、もしくは子育てに関わる人を対象に、講座やイベントを行い、子育てやこどもの育ちを支援する事業。
複数区で実施	乳幼児発達相談体制の強化事業	発達障がいのある子どもと養育者が、速やかに診断や医療につながる相談を受けることができ、早期の療育や適切な保育・教育等につながるまで専門的な支援のもとに安心して育児ができるよう、区保健福祉センターにおいて臨床心理士等専門職を長期的・安定的に確保し、早期発見・継続的な相談支援を実施する。

実施区	事業名	概要
複数区 で実施	発達障がい児等子育て支援事業	発達障がいのある児童を養育している世帯が、必要な支援を受けられ、安心して子育てできるように、保護者に対するピアカウンセリングの実施や座談会等を開催する。
複数区 で実施	子育てマップ等子育て情報紙の作成	子育ての不安感等を解消するため、妊娠期から出産、乳幼児期を通じて、必要な子育て支援サービスを適切に提供するため、子育て家庭に対する適切な支援と情報提供を行う。

こども・青少年や子育て家庭のセーフティネットを確立します

実施区	事業名	概要
都島区	子育て支援講座	乳幼児とその保護者の交流や育児相談、情報交換を行うため、BABY & MAMA YOGA や絵本講座、ミニ運動会などを開催し支援を行う。
都島区	広報誌子育て応援ページ	子育てに関する区内の情報や生活や子育てに活用できる情報を収集し、広く情報提供をするため、子育て応援ページを広報誌に掲載する。
都島区	子育て支援室連続研修会	発達に課題のある子どもや保護者、子育てに関わる区民の方を対象に、発達障がいをテーマとした連続研修会を行う。
西区	児童虐待予防地域協力員事業	複雑・深刻化する児童虐待問題に対応するためには、地域全体での児童虐待の早期発見と通報、子ども・家庭への支援が重要であるため、主任児童委員や民間で子育て支援活動を行っている市民ボランティア等を対象として、専門的な研修を行い、その修了者を地域協力員として登録し、地域における児童虐待の発見や通報、支援を要する子どもや家庭の見守りなど、児童虐待の予防・防止等の活動を展開する。
港区	スクールソーシャルワーカー巡回・派遣事業	スクールソーシャルワーカーを区内市立幼稚園及び小・中学校へ巡回・派遣し、問題をかかえた児童生徒及びその家庭に対し、保健福祉センターをはじめとした関係機関等のネットワークを通じた福祉施策の的確な活用、当該児童生徒が置かれた環境への働きかけなど、多様な支援方法を用いて、課題解決への対応を図る。
港区	中1ギャップ問題の解決に向けたパイロット事業	中1ギャップ問題の解決に向け、家庭学習の促進を図るとともに、不登校児童等に対する登校支援策等を実施する。【再掲】
港区	港区サードプレイス事業（こどもの居場所づくり）	こどもに家庭でも学校でもない地域のボランティアが運営する第3の居場所（サードプレイス）を提供し、自由に話したり、自由に学習をしてもらうことにより、地域の人々とのつながりの中で、生きる力・学ぶ力を育む。
浪速区	子どもの防犯力アップ事業	区内小学校区ごとにおいて、児童・地域住民と行政が一体となり参加する「まち歩きワークショップ」や「安全安心マップの更新・作成」を通じて、地域に潜む危険な箇所（弱点）を見つける視点を培い、地域の犯罪抑止力を高めることで安全で安心なまちづくりに寄与する。
淀川区	LGBT 支援事業	日常の社会生活で苦しんでいるLGBT 当事者や、周囲の方々からの相談を受ける体制をつくり、「見えない」困窮者に対して支援の姿勢を「見せる」ことによって、LGBT の方々が誇りを持って暮らせるまちをめざす。

実施区	事業名	概要
東淀川区	児童虐待ハイリスク家庭全件調査・就学前子育て支援事業	児童虐待の未然防止のため、3歳児以降は就学前まで健診がない4・5歳児を対象に、幼稚園・保育所・未就園児についてはその家庭へ出向いて、全ての子どものお安否・発達状況・養育環境を把握し必要な子育て支援につなげる仕組みを構築する。
東成区	子育てネットワーク構築支援事業	地域のネットワークによる子育て支援機能を高め、子育ての不安感の軽減を図るため、関係機関や地域団体等との連携による子育て支援機会の充実や子育て支援に携わるボランティアの育成を進める。また、新たに「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」を運用し、地域子育てサークルの利用拡大を図るとともに、子育て家庭と地域のつながりづくりを支援する。【再掲】
旭区	あさひ子育て安心ネットワーク事業	「旭区の子どもを地域全体で見守る!!」を合言葉として旭区内の子育て支援機関、団体等が連携し、子育て支援に係る様々な課題についての情報共有や、意見交換を行うことにより、未就学児の健やかな育ちを応援する。また「あさひキッズカード」を未就学児に配布し、子育て関係機関が情報を共有することで総合的な子育て・子育て支援ツールとして活用する。【再掲】
住之江区	住之江区「虐待防止あったかネット」プロジェクト	児童虐待や高齢者、障がいのある方に対する虐待について、区民に正しい知識を持っていただくとともに、虐待防止のネットワーク構築を目的に、広く地域住民を対象に研修を実施し、虐待防止サポーターを養成する。
複数区で実施	防犯カメラ設置事業	子どもの安全を確保するため、通学路、公園などに、犯罪の抑制に効果的な防犯カメラを設置する。

こども・青少年や子育て家庭が安全・安心で快適に暮らせるまちづくりを進めます

実施区	事業名	概要
浪速区	区長が子どもの声を聴く会	区長が各小中学校へ出向くなどし、児童・生徒から直接素直な意見や提案を聞き、担当の行政機関とも連携して、その実現に努めるとともに、市民協働の大切さについて、こどもたちに考えてもらう機会とする。【再掲】
生野区	防犯標語「おこのみやき」啓発「ガチ☆メン」	事件・事故を未然に防ぐ生野区独自の防犯標語「おこのみやき」の啓発活動「ガチ☆メン（楽しく遊びながら標語を覚えるゲーム）」を、区内で開催されるさまざまな地域イベントにおいて、実施している。
住吉区	地域安全防犯対策事業	警察と連携し、小学校、幼稚園等において、ペースサート（紙人形劇）による防犯教室の開催と小学校各教室へ安全啓発ニュース「すみちゃん隊GO通信」掲示を通じて、防犯、交通安全の意識向上を図る。
西成区	プレーパーク事業	「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、既存の公園では禁止されているような火や水を自由に使ったり、木のぼりや穴をほったり等、こどもたちがやりたい、遊びたいと思うことを可能な限り自由にできることをめざした「プレーパーク」を開設する。【再掲】
複数区で実施	校庭等の芝生化事業	地域住民が校庭等を芝生化することにより、子どもが緑のもとで遊べる環境をつくり、その活動を通じて、地域のコミュニケーションを活性化させ、地域づくりの実現を目指す。【再掲】

実施区	事業名	概要
複数区 で実施	青少年育成推進会議事業	青少年の健全育成・非行防止と、子どもの保護・安全の強化、犯罪の未然防止を図るため、巡視等の校下活動や研修会等を開催する。また、地域において協力家庭や協力店舗に旗やステッカーを掲げてもらい、子どもたちがトラブルに巻き込まれそうになったときに駆け込み、助けを求められる体制整備として子ども110番の家事業を展開する。
複数区 で実施	防災力向上事業	大規模災害から自らの身を守り、減災につながる行動ができるよう、防災意識の低い若年層のうち、子育て層に対する防災啓発や防災イベントの開催などにより、区民全体の防災意識の向上に向けた取組みを行うとともに、地域の防災訓練の支援など、自主防災組織の機能強化を図る取組みを行う。
複数区 で実施	交通安全対策事業	地域や警察署などと連携し、交通安全活動を活発に行うことで、区民の関心を高める。また、区内の交通事故発生件数の減少をめざすなど、区民の安全を確保する。
複数区 で実施	小学校新入生対象 防犯物品の配布	区内の市立小学校に入学する新一年生に対し、子どもへの声かけ等事案が発生した際に周辺の人に対して状況を知らせるための防犯ブザーを配付することで、子どもへの犯罪を未然に防止し、犯罪抑止効果を高めることをめざす。また、防犯啓発物品を配布することで、防犯意識の向上をめざす。
複数区 で実施	防犯事業	地域・事業所・関係機関等と連携した防犯啓発活動並びに街路防犯灯の設置助成等の防犯環境整備を通して、街頭犯罪及び子ども被害の発生を抑止する。
複数区 で実施	防犯カメラ設置事業	子どもの安全を確保するため、通学路、公園などに、犯罪の抑制に効果的な防犯カメラを設置する。【再掲】

